

2017年3月16日

報道関係各位

ディシジョン・リソース・グループ

## 世界の脂質異常症治療薬市場：2015年の約170億ドルから2025年には240億ドル以上に成長 - ディシジョン・リソース・グループ調査結果発表

ディシジョン・リソース・グループは、脂質異常症治療薬市場について、①世界の脂質異常症市場は2015年の約170億ドルから2025年には240億ドル以上に成長、②主なブランド薬の特許失効で今後5年間は成長が抑制されるが、新規薬剤数品目の上市・使用率で最終的には相殺される、③PCSK9阻害剤は良好なアウトカムデータを受けブロックバスターになると予測されるが、高薬価のためピーク時の売上高は記録的水準には到達しないだろう、との調査結果を明らかにしました。

-----

製薬業界に関する展望レポート・データベースの発行、コンサルティング業務を手掛ける、ディシジョン・リソース・グループ（所在地：米国マサチューセッツ州バーリントン、CEO：Jon Sandler）は、世界の脂質異常症市場の調査を実施しましたので結果を発表します。

ディシジョン・リソース・グループは、PCSK9阻害剤が良好なアウトカムデータを受けブロックバスターになると予測されるが、高薬価のためピーク時の売上高は記録的水準には到達しないだろうと明らかにした。Amgen社のPCSK9阻害剤 Repatha（evolocumab）の心血管アウトカム試験であるFOURIER cardiovascular outcomes trial (CVOT)の結果がACC.17で間もなく発表される。

Amgen社は、結果は良好と公表しているが、重要なポイントはどの程度良好かである。医療方法はどうか？そもそも変化するか？Repatha、及び直接的な競合相手であるSanofi/Regeneron Pharmaceuticals社のPraluent（alirocumab）は、コレステロール値低下に有効であるにも拘わらず、高薬価のため使用率は伸びていない。さらに、費用対効果の分析では、PCSK9阻害剤の価値をその薬価に見合うようにするには、CVリスクの大幅な低下が必要であると示唆される。

安価な既存・新規経口薬が多数競合する中で、脂質異常症、CV 疾患（急性冠症候群（ACS）等）の治療情勢は今後数年間で劇的に変化し得るが、完全に CVOT データ次第である。

ディビジョン・リソースズ・グループ DISEASE LANDSCAPE & FORECAST 報告書における脂質異常症に関する他の主要ポイント：

■ 脂質異常症市場は、2015 年の約 170 億ドルから 2025 年には 240 億ドル以上に成長すると予測される。主なブランド薬の特許失効で今後 5 年間は成長が抑制されるが、新規薬剤数品目の上市・使用率で最終的には相殺される。

■ 主な CV アウトカム試験数件の結果から、治療パラダイムにおける非スタチン系薬剤数品目（PCSK9 阻害剤、オメガ 3 脂肪酸を含む）の位置付けに関して確証が出される。

■ 2015 年に PCSK9 阻害剤が現れ脂質異常症市場に勢いを与えたが、本薬剤クラスの使用は主に高 CV リスク患者に当初は制限される。

■ 新規 MOA を有する新規薬剤数品目によっても、後期の治療ラインで使用されるにも拘わらず市場成長は促進される。このような薬剤として、Esperion Therapeutics 社の bempedoic acid (ETC-1002)、Merck 社の anacetrapib、及び Resverlogix 社の apabetalone (RVX-208) が挙げられる。

ディビジョン・リソースズ・グループ、アナリスト Dr. Tim Blackstock, MB ChB, M Phil のコメント：

「CV 罹患・死亡の減少が脂質異常症治療の最終目標です。CVOT データは医師の処方、支払者の保険適用・償還に多大な影響を及ぼす可能性があります」

「一方 PCSK9 阻害剤は、LDL コレステロール値の管理不能な高 CV リスク患者に制限される可能性が高いと考えられます。1 日 1 回投与型の新規経口薬 bempedoic acid と anacetrapib の薬価は PCSK9 阻害剤よりかなり安価と予測されるため、PCSK9 阻害剤の使用がさらに制限されるでしょう」

本報告書の見本をご希望の場合は、弊社ウェブサイトをご確認下さい。

DRG の専門家フォロー、業界最新ニュースの分析受信等 DNR の情報は、Twitter の @drg\_tokyo、LinkedIn、DRG ブログでご覧頂けます。

【調査概要】

調査目的：PCSK9 阻害剤が市場に与える影響を調査

調査対象：米国、日本、欧州 5 カ国（英国、フランス、ドイツ、イタリア、スペイン）

の多数のオピニオン・リーダー臨床医、研究者、規制や認可のエキスパート

調査方法：インタビュー、サーベイと多数文献によるセカンダリーリサーチ

【ディビジョン・リソース・グループ 日本支店について】

本社：〒105-0011 東京都港区芝公園 1-1-12 芝公園電気ビル 7 階

日本における代表者：田代 浩司

Tel : 03-5401-2615

Fax : 03-5401-2617

E-mail: TokyoInfo@teamdrg.com

URL : <http://www.dresources.jp>

事業内容：業界展望レポート・データベースの発行、コンサルティング業務